

計画導入として行なっている。

- 5) 5月27日(土)に慈恵の看護専門学校3校の学生を対象に恵和会の特別講演が行われた。
- 6) 人間関係の基礎倫理を学び体験を通して深められるように1年次の4月(1泊2日)と2年次の9月(2泊3日)に宿泊研修を実施した。
- 7) 保護者の連携の充実を図るために国家試験に向けた学習支援の方針・理解と協力依頼を目的として、4月15日(土)に3年生の保護者を対象とした保護者会を開催、模擬試験の成績下位の保護者を中心とした保護者会を3回開催した。(4/15〔土〕、7/15〔土〕、11/18〔土〕)また、2年生の保護者を対象とした保護者会を10月28日(土)に開催した。
- 8) 11月25日(土)、1年生(31期生)の戴帽式を挙行了した(戴帽生90名)
- 9) 平成30年3月10日(土)、2校合同の卒業式を挙行了した。29期生66名が卒業生し、優等賞、恵和会賞がそれぞれ各校1名に贈られた。また、千葉県より、千葉県知事賞が本校卒業生1名に贈られた。

## II. 入学試験

平成30年度入学試験は、推薦入試を平成29年10月13日(金)、10月21日(土)、一般入試を平成30年1月12日(金)、1月15日(月)に実施した。志願者数は、推薦63名(内男子4名)、一般134名(内男子12名)、入学者は84名(内男子5名)であった。

## III. 看護師国家試験

第107回看護師国家試験は平成30年2月18日(日)に実施され、29期生66名が受験し、66名が合格した(合格率100.0%)

なお、全国の看護師国家試験合格率は91.0%であった。

## 7) 卒後臨床研修

### 1. 初期臨床研修

- 1) 平成29年度初期臨床研修医として、医科88名(本学卒43名、他学卒45名)、歯科3名の計91名が採用され、平成29年4月1日より研修を開始した。

附属4病院の採用数の内訳は以下の通りである。

本院	42名	内訳：本学卒9名、他学卒33名(歯科3名を含む) 定員：一般44名、小児2名、産科2名、歯科3名(計51名)
葛飾医療センター	11名	内訳：本学卒8名、他学卒3名 定員：一般11名
第三病院	18名	内訳：本学卒15名、他学卒3名 定員：一般20名、小児2名、産科2名(計24名)
柏病院	20名	内訳：本学卒9名、他学卒11名 定員：一般26名、小児2名、産科2名、総合2名(計32名)

- 2) 平成30年度初期臨床研修医(医科)の採用試験を平成29年7月22日(土)、8月19日(土)に実施した。平成30年度の募集定員は次の通り。本院：48名(一般44名、小児2名、産科2名)、葛飾医療センター：11名、第三病院：24名(一般20名、小児2名、産科2名)、柏病院：32名(一般26名、小児2名、産科2名、総合2名)。

平成30年度採用試験より、優秀な臨床研修医を採用するため、応募書類にCBT成績表の提出、採用試験として医療面接(OSCE)を導入するなど厳格な採用試験を導入した。結果として、4病院の定員数115名に対しマッチ数は85名となり、本院、柏病院は一般枠に空きが生じる結果となったが、今後もフルマッチを目指すのではなく優秀な研修医確保を進めていく予定とした。

柏病院は大きく欠員が生じたため追加募集を行い、平成29年11月18日に採用試験を実施した結果3名の応募があり、2名を追加採用した。

- 3) 平成30年度初期臨床研修医(歯科)の採用試験を8月26日(土)に本院にて実施した。定員3名のところ、9名のマッチング登録を行ない、マッチ数は定員と同数の3名であった。

- 4) 採用予定者の大学における卒業試験および医師・歯科医師国家試験の結果により、平成30年度初期臨床研修医採用数は、医科79名（本学卒52名、他学卒27名）、歯科3名となった。附属4病院別の採用数は以下の通りである。

本院	40名	内訳：本学卒15名、他学卒25名（歯科3名を含む） 定員：一般35名、小児1名、産科1名、歯科3名（計40名）
齒科医療センター	10名	内訳：本学卒8名、他学卒2名 定員：一般10名（計10名）
第三病院	19名	内訳：本学卒18名、他学卒1名 定員：一般19名、小児0名、産科0名（計19名）
柏病院	13名	内訳：本学卒11名、他学卒2名 定員：一般13名、小児0名、産科0名、総合0名（計13名）

- 5) 第13回研修指導医講習会を平成29年8月11日（金）、12日（土）の2日間にわたって開催し、49名が受講を修了した。なお、本講習会は、厚生労働省の開催指針に基づき開催し、修了者には厚生労働大臣名および附属病院長名による修了証を授与した。
- 6) 他大学医学科生向けに病院説明会を2回開催し合計108名の参加者を集めた。  
第1回説明会 平成29年6月3日（土）  
第2回説明会 平成29年7月1日（土）
- 7) 外部機関・メディカル・プリンシプル社が主催する医学生のための臨床研修病院説明会に出席した。名称：レジナビフェア2017in東京 開催日：平成29年7月16日（日）  
※会場来場者数 2,768名（前年比+92） 本学ブース来場者123名（前年比-26）
- 8) 今年度のCPCを5月から11月にかけて計6回開催した。

開催回	開催日	担当科	臨床診断名
第744回	5月15日（月）	循環器内科	劇症型心筋炎
第745回	6月5日（月）	リウマチ・膠原病内科	皮膚筋炎
第746回	7月3日（月）	神経内科	細菌性髄膜炎
第747回	9月4日（月）	感染制御部	HIV感染症、播種性MAC症、肺MAC症、CNV感染症
第748回	10月16日（月）	泌尿器科	前立腺癌術後再発
第749回	11月13日（月）	呼吸器内科	左肺癌、右肺アスペルギローマ、膜性腎症

## 2. 専門修得コース（レジデント）

- 1) 平成29年度は、レジデント140名〔本学初期臨床研修修了者74名、他施設初期臨床研修修了者66名（うち本学卒18名）〕を採用し、各科にて専門修得コースの研修を開始した。
- 2) 平成29年4月30日付にてレジデント2名、5月31日付2名、6月30日付1名、7月31日付2名、8月31日付1名、9月30日付2名、10月31日付1名、11月30日付1名、12月31日付1名、3月31日付にてレジデント114名、リサーチレジデント3名の合計130名が専門修得コースを修了した。
- 3) 外部機関・メディカル・プリンシプル社が主催する『初期研修医のための研修病院説明会・レジナビフェア for RESIDENT 2016 in東京』（平成29年6月18日開催）に参加し、本学附属病院ブースの来場者は56名であった。

- 4) 平成30年度レジデントの第1回採用試験は平成29年10月7日(土)、第2回採用試験を平成29年11月4日(土)に実施した。平成30年度採用者から、日本評価機構が定めるスケジュールに沿って採用活動を行った。厳正なる面接を実施した結果159名(前年度+18名)を採用した。採用者の内訳は、本学初期臨床研修修了者82名、他施設初期臨床研修修了者77名(うち本学卒29名)であった。
- 5) 平成29年度より、レジデント期間中における評価制度を導入した。レジデント修了後に診療医員として正規採用するか判断するため、評価の低いレジデントがいる診療部には、病院長と診療部長で面接を行い判断した。評価項目は、主に人間性や診療態度を重点とした。

## 8) 生涯学習センター

- 1) 登録者数：平成30年3月現在188名、内港区医師会31名、中央区医師会6名である。
- 2) 利用者数：平成29年度は223名である。
- 3) 月例セミナーが下記のとおり開催された。

- |                        |                    |                 |
|------------------------|--------------------|-----------------|
| ① 第238回・平成29年4月8日(土)   | 携帯可能な超音波による患者全身診断  | 中田 典生(放射線科)     |
| ② 第239回・平成29年5月13日(土)  | 口腔と全身の健康           | 林 勝彦(歯科)        |
| ③ 第240回・平成29年6月10日(土)  | 乳腺疾患について           | 鳥海弥寿雄(外科)       |
| ④ 第241回・平成29年7月8日(土)   | 低侵襲大動脈弁置換術の現況と将来展望 | 坂東 興(心臓外科)      |
| ⑤ 第242回・平成29年9月9日(土)   | 脳卒中治療アップデート        | 結城 一郎(脳神経外科)    |
| ⑥ 第243回・平成29年11月11日(土) | 炎症性腸疾患の診断と最適な治療選択  | 猿田 雅之(消化器・肝臓内科) |
| ⑦ 第244回・平成30年2月10日(土)  | 乾癬性関節炎の診断と治療       | 中川 秀己(皮膚科)      |
| ⑧ 第245回・平成30年3月10日(土)  | 誤嚥性肺炎について          | 中山 勝敏(呼吸器内科)    |

### 4) 第38回夏季セミナー

「見逃せない!めまいと頭痛のアップデート」が平成29年8月5日(土)午後4時より橋本和弘(心臓外科)の司会で行われ、参加者は84名であった。

- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| 1. めまい、頭痛の鑑別診断—神経内科の立場から— | 豊田千純子(神経内科)  |
| 2. 頭痛をきたす眼科緊急疾患           | 敷島 敬悟(眼科)    |
| 3. めまいをきたす代表的な内耳疾患        | 近澤 仁志(耳鼻咽喉科) |
| 4. 鼻副鼻腔疾患にともなう頭痛について      | 鴻 信義(耳鼻咽喉科)  |